

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和3年 4月 1日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿		
「創造性ある金融サービスを通して地域社会に貢献する」という経営理念のもとに、‘Agrigional Coordinator（アグリージョナルコーディネーター）’として、ヒトと地域、食農分野をつなぎ、地域社会と農業の持続的発展に貢献する。		
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動		
農業専門金融機関として、食農分野におけるビジネスマッチングを実施するなど、食農分野における地域のつなぎ役として、静岡県の農業・産業の活性化に寄与している。		
目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	令和3年12月31日までの取組目標
	静岡の農業生産維持・拡大及び農業者の所得向上に向け、食農ビジネス・マッチングに積極的に取り組むとともに、農業生産者やJA・農業法人等へのコンサルティング・サポート機能の充実を図った。	農業生産者やJA・農業法人等の「川上」から、取引先企業等の加工・流通等を担う「川中」、小売り・外食等の「川下」までの‘食農バリューチェーン’における環境変化を的確に捉え、食農ビジネス・マッチングに取り組んでいくとともに、農業生産者やJA・農業法人等へのコンサルティング、サポート機能の更なる充実を図る。
	JAバンク静岡アグリサポートプログラムとして、親元就農者や農業高校・大学への資金支援を実施するなど、将来の担い手となる人材の育成を図るとともに、行政等の制度資金・利子補給制度やJAバンク独自の支援制度を活用した資金コーディネートを行うなど、農業者等へ金融サービス通じた支援を実施し、静岡の農業生産維持・拡大及び農業者の所得向上に貢献した。	親元就農者や農業高校・大学への資金支援を継続し、担い手となる人材の育成を図るとともに、行政等及びJAバンク独自の各種支援制度を活用した資金コーディネートを行うなど、農業者等へ金融サービス通じた支援を継続していく。
	県内534校の小学5年生に、食農・環境・金融経済をテーマとした補助教材を贈呈し、食農に対する理解を深めた。	県内の小学5年生を対象とした補助教材の贈呈事業を継続し、食農に対する理解促進を図っていく。
	残業の削減やメンタルヘルス体制の強化等、職員の健康増進に取り組むとともに、ふじのくに健康づくり推進事業所宣言を行い認定事業所となった。	ふじのくに健康づくり推進事業の認定事業所として、引き続き残業の削減やメンタルヘルス体制の強化を図るとともに、健康促進イベント等の開催により職員の健康増進に取り組んでいく。
	地域貢献に係る取組み ・フードバンクふじのくにの取組みに参加し、食品の個別提供を実施。 ・コロナ禍で流通・販売に影響を受けているJA組合員・農業生産者の支援を目的として、「Go To FM（ファーマーズ・マーケット）」企画を実施。職員に1人あたり5,000円分の静岡県くみあい商品券を配布し、県内のJAファーマーズマーケット等での農畜産物の購入を促した。	・食品の個別提供のほか、フードドライブへの参加など、フードバンクふじのくにの各種取組みに参加していく。
	地域の自然環境保全に向けた取組み ・静岡市森林環境アドプト事業への協賛 ・安倍川流木クリーン祭りへの職員の参加 ・プラスチックごみの軽減及び職員の意識醸成を目的とした、職員公募デザインによるエコバック作成について検討	・静岡市森林環境アドプト事業への協賛の継続 ・安倍川流木クリーン祭りへの職員の参加継続 ・職員公募デザインによるエコバックの作成・配布及び利用の促進

（記載上の注意）

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

事業所・団体等又は関連事業者等の名称	静岡県信用農業協同組合連合会 (本社が届け出る場合はその事業所の数 3)	
業種	8. 金融・保険業	
代表者 職・氏名	職名	代表理事理事長
	氏名	田代 芳彦
所在地	〒422-8621 静岡県静岡市駿河区曲金3-8-1	
URL	https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/shinren/	
従業員（構成員）数	男性 176 人 女性 102 人 計 278 人	